



日本学術振興会カイロ研究連絡センター現代中東研究会(2012 年度第2回)のお知らせ

- ◆ 日時：2012年12月20日(木) 18:00 開場 18:30 発表 20:00 懇親会 21:00 閉会
- ◆ 場所：日本学術振興会カイロ研究連絡センター多目的集会室

- ◆ 発表： **同胞団ウオッチの面白さ** **大内 清 おおうち きよし 産経新聞中東支局長**

エジプトで、同国のイスラム国家化を志向するムスリム同胞団を母体とするモルシー政権が誕生して約半年。かつては当局の厳しい監視下にあった同胞団は、エジプト内政のみならず、域内外交においても最も重要なプレーヤーの一つとなった。

秘密結社的性格を保つ同胞団の意思決定過程は外部の者にはきわめて分かりにくく、それゆえに「熱心に慈善活動を展開する大衆組織」といったイメージだけが先行しがちだ。ただ、現実の同胞団はさまざまな路線対立を抱えており、権力闘争も繰り返されてきた。そして現在のエジプトでは、同胞団指導部の性格がモルシー政権の政策を大きく左右する力を持つだけに、同胞団の内部事情をより正確に理解することの重要性はかつてなく高まっている。

同胞団の歴史を振り返りつつ、多数の関係者に取材した経験などから、同胞団を観察する面白さをお伝えできればと思う。

- ◆ 参加：参加者は、氏名を明記の上、発表(聴講無料)および懇親会(20LE)の申込内容を、メール(JSPS1ecmet@gmail.com)あるいは電話・Fax.(02-2736-3752)に、発表日前日までにお伝え下さい(収容人数の関係上、参加者は40人までに限らせて頂きます)。

注) 1) 本研究会を円滑に進めるために、本会は2011年度より事前に参加人数を事務局が把握し、懇親会は参加費支払型にしております。ご理解頂ければ幸いです。

2) 講演者は報道の最前線におられる方なので、開催日直前になっての緊急取材で、講演が不可になることもあり得ます。その際には、「エジプトにおける文化遺産の保存問題—史跡整備の動向とその背景—」(長谷川奏・学振カイロセンター長)に振り替えさせていただきます。この点、ご理解頂ければ幸いです。

日本学術振興会カイロ研究連絡センター
JSPS Cairo Research Station
Flat no.4, 9 al-Kamil Muhammad Street
Zamalek, Cairo, Egypt
Tel. Fax. 02-2736-3752

